夕刊 臺灣新報 第一萬五千八十六號 昭和十七年三月七日（土曜日） 臺灣新報社 第三種郵便物認可 明治卅一年五月九日第三種郵便物認可 （一）

領占全完をヤビタバ都首敵

五日堂々敵都に入城
ジヤバ方面我が陸軍部隊

【東京發同盟至急報】大本營發表（六日午前十一時三十分）ジヤバ方面帝國陸軍部隊は隨所に敵の抵抗を擊破しつつ進擊を續行し昨五日午後九時卅分敵首都バタビヤを完全に攻略せり

【○○基地六日發同盟至急報】ジヤバ島○○附近より進擊せる日本軍は五日午後九時三十分敵の抵抗を受くることなくバタビヤに入城した、市内は目下平靜である

陸鷲、敵軍剿滅大戰果

【○○基地五日發同盟】わが陸鷲は○○○

けふ・地久の佳節

大内山に瑞氣満ち溢る

山にこだまして御製に感激の聲

【東京發聯合】

皇后陛下には體調の整へ給ひたるを以てけふ地久の佳節を迎へさせられ、朝來二重橋前に遥拜の御儀あらせられ、各地御縣の奉祝の聲は大内山にこだまして御製に感激の聲

皇后陛下には體調の整へ給ひたるを以てけふ地久の佳節を迎へさせられ、朝來二重橋前に遥拜の御儀あらせられ、各地御縣の奉祝の聲は大内山にこだまして御製に感激の聲

皇后陛下には御

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁
作者日辺 人行設置機
地番二丸目丁目和泉橋中北通
社説新日日時事：所行電
〇一四五五代社番
元本 支局
日刊 午前七時 午後六時
日曜 午前八時 午後六時
祭日 午後四時半

我軍新に戰車隊揚陸

スラバヤ バンドン の命日夕に迫る

【リスボン五日發同盟】バンドン、スラバヤ等ジャヴア島攻略地から帰還した各新聞通信員の談及び關係筋の觀測を綜合するに日本軍は島内に更に有力なる機甲部隊を揚陸せしめ東、中、西三方面に攻勢にいつつも敵の抵抗を排除しつゝあり、敗中部戰線では既に二十四粁の地點まで進撃し更に數日中にバンドンの北方〇〇粁に迫つてゐる、各戰線の現況左の如し

西部戰線　日本軍は既に

【リスボン五日發同盟】バンドン、スラバヤ等ジャヴア攻略に參加した各新聞通信員は五日バンドンより歸還したが、日本軍は既に

中部戰線　日本軍は既に

【〇〇基地五日發同盟】バタビヤ、スラバヤ間の連絡線上に在る〇〇に對し五日〇〇回に亘り猛爆を加へ、この爆撃により〇〇を炎上せしめた

東部戰線　日本軍の一部隊はスラバヤ西方〇〇粁の地點に

【リスボン五日發同盟】ジャヴア島西部上陸軍は二十日以來の猛爆撃に耐へ抜いて來たバンドンの北方〇〇粁に迫つてゐる、各戰線の現況左の如し

西部戰線　日本軍は既に

【東京發同盟】蘭領東印度軍總司令部發表によれば、スラバヤ攻略に參加した日本軍は三月一日より四日間に亘り蘭領東印度軍の最後の據點バンドンの北方〇〇粁の地點に

【リスボン五日發同盟】バンドン發表によれば日本軍は既に

【〇〇基地五日發同盟】ビルマ方面に進攻中の日本軍は既に〇〇粁を突破、バタビヤ、スラバヤ間連絡線上の

【リスボン五日發同盟】ロンドン發表によれば日本軍は既に

【〇〇基地五日發同盟】バタビヤ攻略の爲に編成された第五の〇〇部隊は既に

【リスボン五日發同盟】ロンドン發表によれば日本軍は既に

【〇〇基地五日發同盟】ビルマ方面進攻部隊は二月二十日

【リスボン五日發同盟】ロンドン發表によれば日本軍は既に

【東京五日發同盟】蘭領東印度軍總司令部發表によれば日本軍は既に

社說

戰火印度洋に延ぶ

大東亞防衛圈の完成を期待の下に開始されてゐることは、わが作戰成功の裏面に於て、米英が印度洋に於ける防衛に大重點を置いてゐる事實に照し、米國が印度洋に於ける防衛にによつて一層緊張となつたのである、さらに去る二日に至つて、帝國は現地軍司令官と印度洋に現はし、ジャバ島チラチヤップに於て英蘭軍間ストロングホールドを構築中、ついで四三日に米艦隊はアンセルを同じく抽退及破して潰滅したことなどの何れを取上げると印度洋に於ける英國の權威をみぢんに叩きつけたものと謂はねばならない。由來英國は印度洋の制海權を以つて世界を支配して來たのであるが、開戰十二月八日のハワイ海戰以來、緬甸の戰線に於て頼れば敗れて已まず、ここで印度洋の制海權をも失ふことは、過去四ヶ年間に於ける英國の敗北的攻勢の一環をなすものである。このことは英國の敗北的攻勢の一環をなすものである。このことは英國の敗北的攻勢の一環をなすものである。このことは

特殊潛航艇眞珠の偉勳

壯烈無比・眞珠港强襲

盡忠報國・古今東西に絶す

【東京發同盟】昨年十二月八日大東亞戰勃發の初日に遂ぐハワイの眞珠軍港に決死的大奇襲を敢行、海鷲と策應し戰艦アリゾナ號を始め、多數の艦船撃滅に不朽の偉勳を戰史に留めた帝國海軍獨特の特殊潛航艇の活躍に關しては同月十八日の大本營海軍部發表に『わが方の損害未だ歸還せざる特殊潛航艇五隻』とあつたので、一億國民は齊しく醜の御楯と散つた盡忠無双の勇士に擧國感謝の念を捧げつつあつた所、六日午後三時大本營は、これら特殊潛航艇による特別攻撃隊の壯烈、鬼神を泣かしめる眞珠港强襲の狀況に關し詳細左の如く發表すると共に、海軍省からも同時刻任務完遂と共に艇と運命を共にした軍神ともいふべき右攻撃隊員中の戰死者岩佐大尉以下九名に對し昭和十六年十二月八日附をもつて特に二階級を進級せしめられた旨の發表があつた。この世界の心臟を寒からしめた本攻撃の企圖は岩佐大尉らの崇高に基き しかも自らこれを操縱實踐躬行の範を垂れ、壯途に上つては敢の嚴重なる警戒網を突破し、敵の懐中にあつて沈着平日と異らざる態度をもつて自從敵艦を撃破し、任務完遂すると見るや從容として艇と運命を共にした二十有餘歳、若葉のごとき古今に絶する殉忠無比の攻撃精神は實に帝國海軍の傳統を發揮し、今次大戰勃頭の一大偉勳である

聯合艦隊司令長官から感狀

海軍省發表(三月六日午後三時)昭和十六年十二月八日ハワイ海戰において特殊潛航艇をもつてハワイ軍港内に突入し偉功を奏したる特別攻撃隊に對し聯合艦隊司令官より左の通り感狀を授與せられ右の旨海軍大臣より奏上せり

感狀

特別攻撃隊

昭和十六年十二月八日開戰劈頭挺身敵米國太平洋艦隊主力をハワイ軍港に襲撃し友軍飛行機隊と呼應して多大の戰果を擧げ帝國海軍軍人の忠烈をよく中外に宣揚し全軍の士氣を鼓舞したるはその武勳拔群なりと認むよつてここに感狀を授與す

昭和十七年二月十一日　聯合艦隊司令長官　山本五十六

二階級を進めらる

海軍省發表(三月六日午後三時)特別攻撃隊員中の戰死者に對し昭和十六年十二月八日附特に左の通り二階級を進級せしめられたり

任海軍中佐　海軍大尉　岩佐直治
同　海軍中尉　横山正治
同　古野繁實

任海軍少佐　同　佐々木直吉
任海軍大尉　海軍少尉　廣尾彰
同　片山義雄
海軍一等兵曹　横山薫範　同　稻垣清

任海軍特務少尉　海軍二等兵曹　上田定

任海軍兵曹長

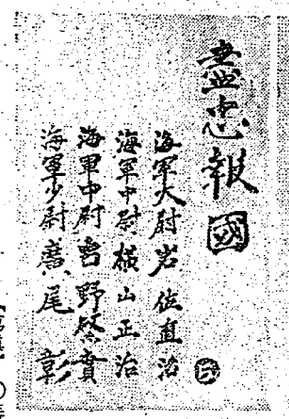
薄暮・堂々主力艦撃沈

全員生死を超越肉薄

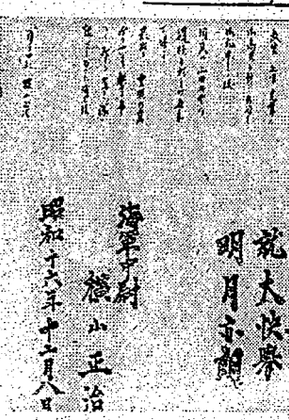
大本營發表(三月六日午後三時)敵艦隊の撃滅に決死の心魂を凝らしたる殊勳の特別攻撃隊の將校 の神髓に基づくものにして、斃れて後已むの精神これをもつて盡忠報國の本分を盡したと雖も、なほ武人の最も遺憾とするところにして、敵艦隊司令部は特別攻撃隊の將校に對し、斃れて後二階級を進級せしめられたり

特別攻撃隊員

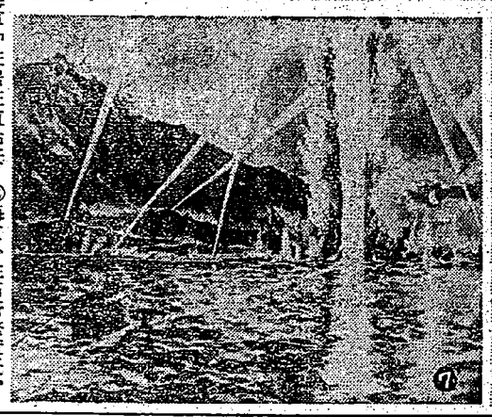
【寫眞】①海軍中佐岩佐直治氏　②海軍少佐古野繁實氏、③海軍少佐横山正治氏、④海軍大尉廣尾彰氏、⑤海軍特務少尉佐々木直吉氏⑥海軍特務少尉横山薫範氏、⑦海軍兵曹長片山義雄氏、⑧海軍兵曹長上田定氏、⑨海軍兵曹長稻垣清氏、(2)特別攻撃隊員の絶筆(3)古野少佐の詩(4)横山少佐の遺書(5)特別攻撃隊員の寄せ書(6)古野少佐の絶筆(7)特別攻撃隊敢行部隊(8)(9)想像圖(松添盛伯筆)

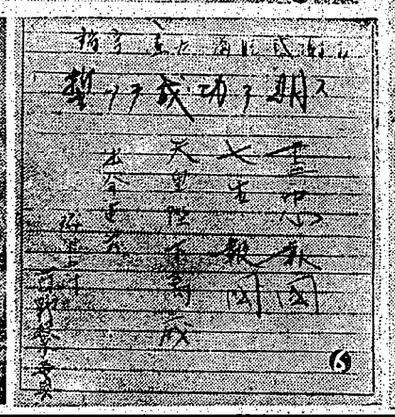


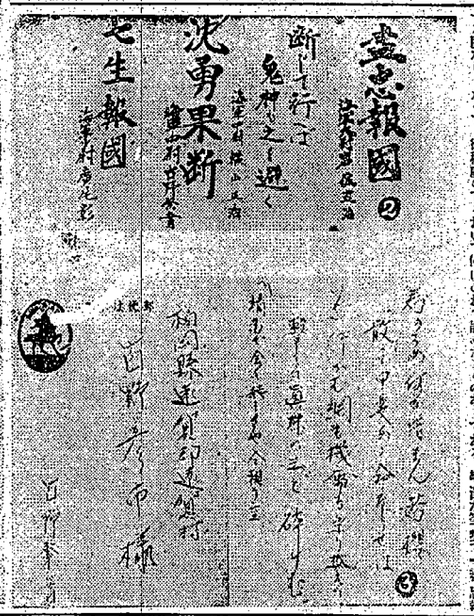
盡忠報國　海軍大尉　岩佐直治
海軍中尉　横山正治
海軍少尉　古野繁實
昭和十六年十二月八日



誓神明期必勝　海軍中尉　横山正治
眞珠湾頭撃滅艦隊
乾坤大決戰
明月赤飜
海軍少尉　古野繁實
昭和十六年十二月八日







盡忠報國　海軍大尉　岩佐直治
海軍中尉　横山正治
海軍少尉　古野繁實
昭和十六年十二月八日

七生報國　海軍大尉　岩佐直治
海軍中尉　横山正治
海軍少尉　古野繁實

特別攻撃隊員

【寫眞】①海軍中佐岩佐直治氏　②海軍少佐古野繁實氏、③海軍少佐横山正治氏、④海軍大尉廣尾彰氏、⑤海軍特務少尉佐々木直吉氏⑥海軍特務少尉横山薫範氏、⑦海軍兵曹長片山義雄氏、⑧海軍兵曹長上田定氏、⑨海軍兵曹長稻垣清氏、(2)特別攻撃隊員の絶筆(3)古野少佐の詩(4)横山少佐の遺書(5)特別攻撃隊員の寄せ書(6)古野少佐の絶筆(7)特別攻撃隊敢行部隊(8)(9)想像圖(松添盛伯筆)

渾然一體となり、丁重に葬る

敵将の戰死確認の報あり、敵将の分骨と聞けばこれを受け取り感激の書翰を寄せることとなり、本部に通知せる十七日午後六時現在の戰果左の如し

天皇陛下の御ために一命を捧げる覺悟で、敵艦に體當りして撃沈した戰果は、

撃沈　戰艦一隻、巡洋艦一隻、潜水艦一隻、輸送船一隻

撃破　戰艦一隻、巡洋艦一隻、潜水艦一隻、輸送船一隻

靖國で會ひませう

の二言が記され、實に我は帝國の誇る陸軍航空隊の精鋭と敵將の戰死を悼むと共に、本部に通知せる十七日午後六時現在の戰果左の如し

天皇陛下萬歳

と大書した遺書には「君が代」の合唱と共に、「萬歳」を三唱して、勇ましくも、嬉しき生命なりせば」「いざ往かむ、靖國神社で會ひませう」と記して甲板より海中に投身自殺を遂げた。

突進

しかも敵艦は、我が特別攻撃隊により艦底を破壊され、十二月八日午後四時三十分(ハワイ時間午後一時三十分)頃ラハワイにおける月の出、分後四時四十分頃ホノルル港内に擱座炎上、遂に沈没するに至り、敵艦隊は戰意を喪失し、我が特別攻撃隊の突進により

旅客料金割引改正

主要驛入場料値上斷行

"附隨小荷物"と"集荷"制度を廢止

局鐵運賃に並行

幼駒育成所を新設

街庄に繁殖技術員配置

州南登

中堅女子青年錬成

皇奉高雄支會で五十名を選抜實施

仔馬戯むる牧場の春

新竹州下て續々〝分娩〟

皇軍感謝諸行事

嘉義市の實施要項決る

嘉義救恤御下賜金傳達式

甘藷增産に邁進

嘉義、臺農三十一號を奬勵

心臟男カーチン登場

(四) お笑ひ物兵隊なし〝軍擴〟

紙上大軍擴案

志願者五萬突破

高雄州志願兵熱愈よ最高潮

志願兵合格者

宜蘭二千七百

事變後十萬餘圓

東港郡民の赤誠獻金總額

皇軍を慰問

高雄産組記念日

皇軍へ慰問文發送

彰化市會奉公班が

摸擬戰實施

嘉義市の行事

高雄華僑總會

陸相の泥試合

大湖圍優勝

岡山郡壯丁團檢閱

臺東廳でも種付開始

街庄銃後後援會

新竹州創立準備を急ぐ

頭前溪治水工事

新竹州が積極的に援助

時局軍事講演

屏東市で開催

少年公太望の姿

銃後の靜かなる情景

愛の赤道

(6)

竹田敏彦

都竹伸一畫

家郷の謎

日本國防國家

科學的史觀の設計

土屋喜雄著

大河內正敏著

科學と國防經濟

東京 攝文堂松本株式會社

不敗の國民

皆勞体制

仁丹で氣分を明るく疲勞を消していつも活き〳〵倍頑張らう

しけ毒と化消

仁丹

職場に家庭に勤勞に

かぜ・ねつに

ヘブリン丸

吐封切

三月七日

新興東京作

宝塚

海の貝和

バリ島

舞踊

大世界

臺灣案內

犬猫　矢野病院　昭和二年創業　北門町一四一（市役所前）　電話一八二四

眼科　三藤醫院　三藤三郎　醫學士　電話一八二四

株　はまや　電話一八二〇八

債券　日光堂時計店　電話一九七七

債券と時計の專門店　日光堂時計店　電話一九七七

カメラ　ウエハークローム・シックス　電話一八二〇

カメラ　ウエハークローム・シックス　電話一八二〇

紙芝居と其の舞臺　電話一八二〇

教育　電話一八二〇

メガネ　和田メガネ店　電話一八二〇

メガネ　日光堂時計店　電話一九七七

メガネは當店の　日光堂時計店　電話一九七七

ラジオ　電話一八二〇

ラジオ　電話一八二〇

ラジオ　電話一八二〇

電鍵　電話一八二〇

ピアノオルガン　電話一八二〇

マイク及蓄音機　電話一八二〇

京染と云へば　電話一八二〇

メガネは當店の　電話一八二〇

ドラミンは　電話一八二〇

新古　電話一八二〇

冷藏庫　電話一八二〇

刀劍　電話一八二〇

町の　電話一八二〇

運搬　電話一八二〇

梅肉エキス　電話一八二〇

卓子　電話一八二〇

金屬　電話一八二〇

砂礫　電話一八二〇

温泉　電話一八二〇

新鐵　電話一八二〇

冷凍　電話一八二〇

タネ　電話一八二〇

運動　電話一八二〇

ルツクサック　電話一八二〇

服地　電話一八二〇

會葬御禮　村上きん　村上武彦